

栗駒山の火山活動解説資料（平成30年6月）

仙台管区気象台
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図1、図2）

大柳及び展望岩頭に設置している監視カメラによる観測では、噴気は認められませんでした。

・地震や微動の発生状況（図3）

火山性地震は少ない状態で経過しました。

火山性微動は観測されませんでした。

なお、栗駒山周辺では、「平成20年（2008年）岩手・宮城内陸地震」の余震域内で地震活動が続いています。

・地殻変動の状況（図4、図6）

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。



図1 栗駒山 山頂周辺の状況（6月23日）

・大柳（山頂の南東約20km）に設置している監視カメラの映像です。



図2 栗駒山 昭和湖及びゼッタ沢上流周辺の状況（6月23日）

・展望岩頭（昭和湖の南南西約900m）に設置している監視カメラの映像です。

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ (<https://www.jma-net.go.jp/sendai/>) や、気象庁ホームページ (https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成30年7月分）は平成30年8月8日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東北大学及び国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平29情使、第798号）。



図3 栗駒山 日別地震回数（2006年10月～2018年6月）

- ・基準観測点の変更は次のとおりです
観測開始 2006年10月12日～旧耕英観測点
- * 1 2008年6月14日～7月2日18時（図の灰色部分）まで「平成20年（2008年）岩手・宮城内陸地震」の影響により観測不能
- * 2 2008年7月2日～小安^{おやす}観測点（2010年10月8日まで）及び広域地震観測網
- * 3 2016年6月1日～耕英観測点

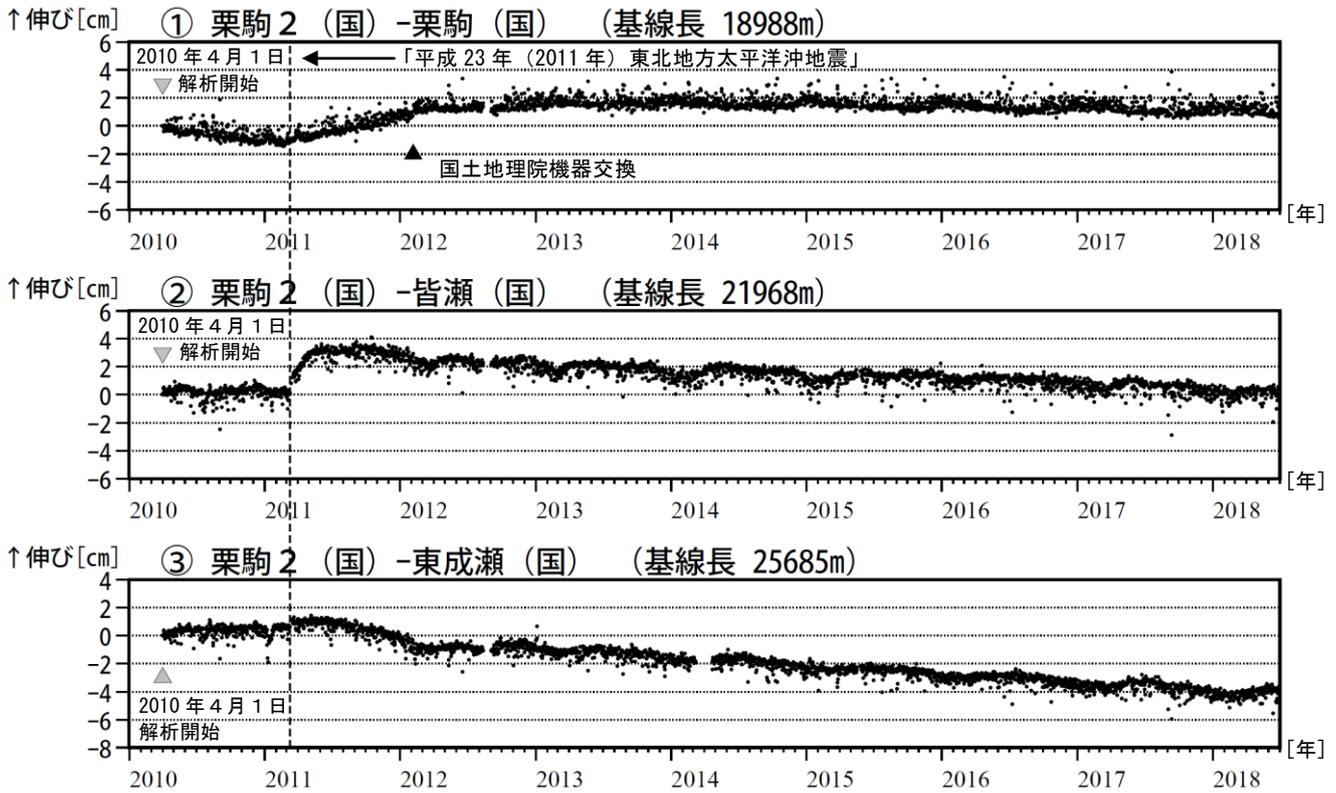


図4 栗駒山 GNSS¹⁾ 基線長変化図（2010年4月～2018年6月）

- ・「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」に伴うステップを補正しています。
 - ・①～③は図6のGNSS基線①～③に対応しています。
 - ・グラフの空白部分は欠測を表しています。
 - ・（国）は国土地理院の観測点を示します。
- 1) GNSSとはGlobal Navigation Satellite Systemsの略称で、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示します。

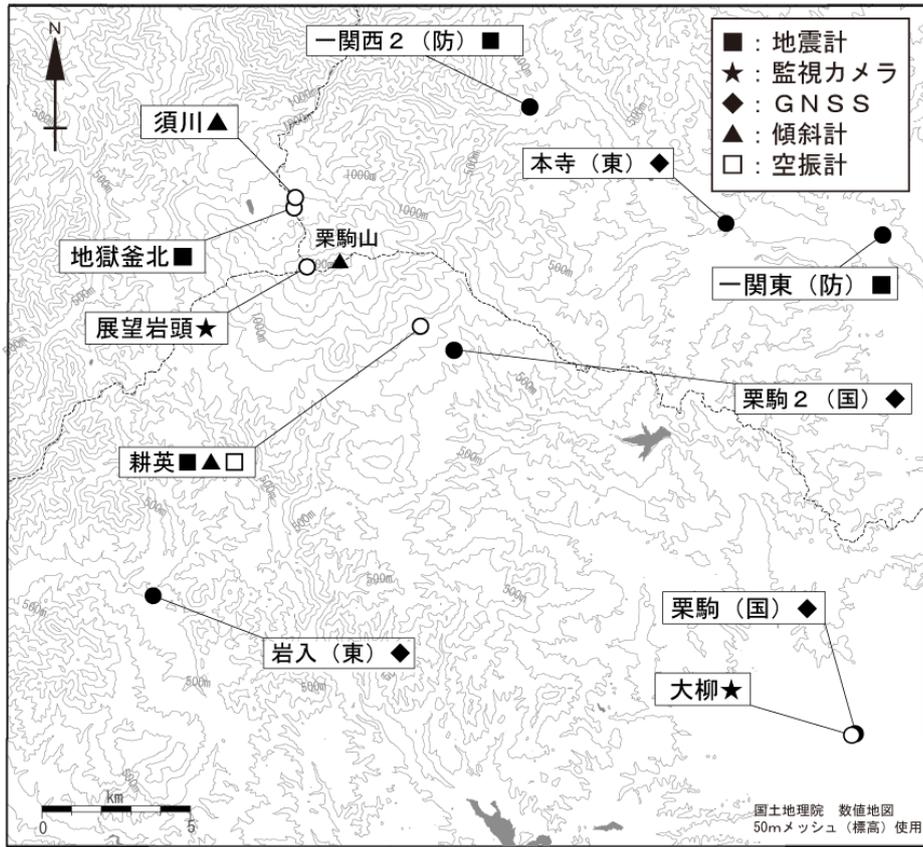


図5 栗駒山 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（国）：国土地理院 （東）：東北大学 （防）：防災科学技術研究所

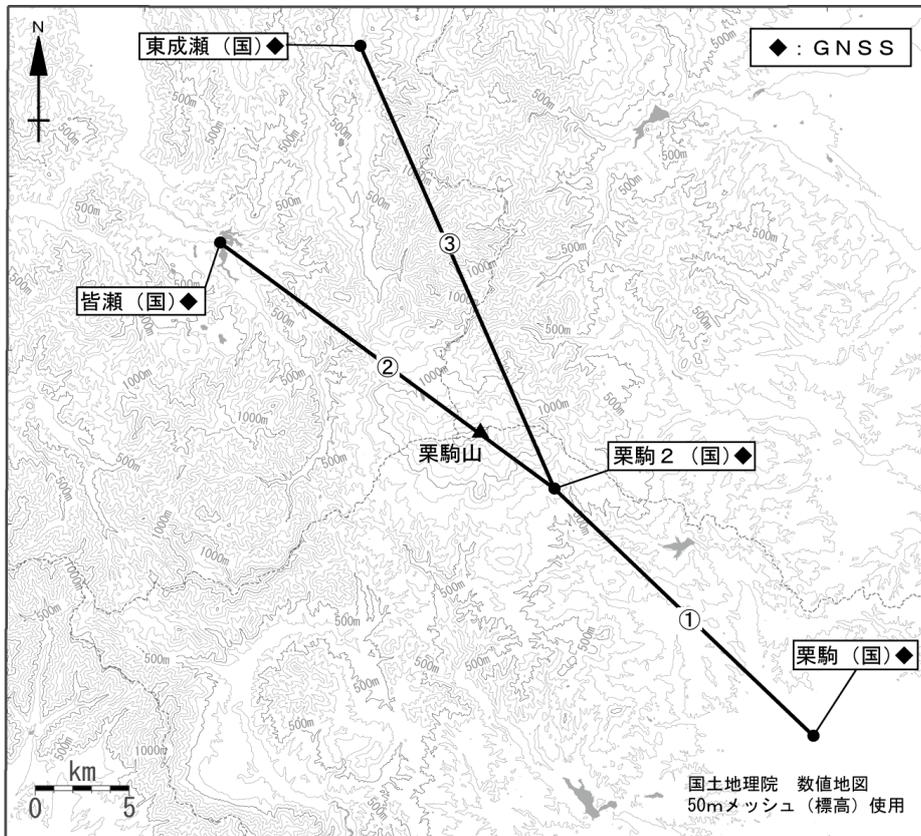


図6 栗駒山 GNSS 観測基線図

小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（国）：国土地理院